

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉調査法 （Social Work Research）		
ナンバリングコード	E20934	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修:こども・福祉コース 選択:地域マネジメントコース、Bソリューションコース、会計ファイナンスコース、スポーツビジネスコース コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E043801	クラス名	-
担当教員名	大谷 明弘、河村 裕次		
履修上の注意、履修条件	・本講義は「こども・福祉マネジメントコース所属学生のみ履修可」となります。その他コースの学生については「社会調査法」の履修をしてください。 ・本講義は、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目となっています。 ・講義では、 見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。 ・授業時の座席指定:なし		
教科書	毎講義においてプリントを配布します。		
参考文献及び指定図書	参考テキストについては、講義時に随時紹介します。		
関連科目	コミュニティワーク論, 社会福祉原論, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 福祉行財政と福祉計画, 相談援助の基盤と専門職, 相談援助の理論と方法		

○基本情報		
授業の目的	本講義では、以下の目的に沿って講義を行います。 ①社会福祉調査の意義と目的について理解する ②社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する ③社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する ④量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する ⑤質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する ⑥ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する	
授業の概要	本講義では、まず社会福祉調査の概要についての理解を深めていきます。ソーシャルワークにおいて社会福祉調査を行う意義とその目的について考えます。また実際に調査を行う際に必要となる個人情報の取扱いや倫理等について学びます。 その後、調査の具体的方法として量的調査及び質的調査の過程・調査実施の方法・分析について概観していきます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会福祉調査の意義と目的及び方法の概要について理解する。	10点	10点	
【知識・理解】	・社会福祉調査の意義と目的について理解している。 ・社会福祉調査の倫理と個人情報の保護について説明できる。	10点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	・量的調査及び質的調査の目的を踏まえ、調査計画等をデザインすることができる。	10点	20点	
【思考・判断・創造】	ソーシャルワークにおける社会福祉調査の果たす役割について考察することができる。	10点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
定期試験及び確認テスト等をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 ※リアクションペーパーの記述内容及び記載された質問等については、次回の講義時などに可能な限りコメントをします。

○その他
・進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合があります。 ・講義内容についての質問・要望等は、講義終了後または研究室(メールも可)に来てください。 ・社会福祉士受験資格取得には、本科目の単位修得が必要となります。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	社会福祉調査法（Social Work Research）	授業コード	E043801
	担当教員	大谷 明弘、河村 裕次		
学修内容				
1. オリエンテーション, 社会福祉調査の意義と目的①				
本講義の目的および到達目標等について説明します。 社会福祉調査とは何かについて考えていきます。				
予習	講義の目的等についてシラバスを熟読する			
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する			
2. 社会福祉調査の意義と目的②				
社会福祉調査の種類, 社会福祉調査の意義・目的につい考えていきます。				
予習	事前に示したキーワードについて調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する			約2時間
3. 社会福祉調査の意義と目的③				
統計法の概要について説明をします。				
予習	事前に示したキーワードについて調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する			約2時間
4. 社会福祉調査における倫理と個人情報保護①				
社会福祉調査と倫理との関係性, 社会福祉調査における倫理的配慮について考えていきます。				
予習	事前に示したキーワードについて調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する			約2時間
5. 社会福祉調査における倫理と個人情報保護②				
社会福祉調査における個人情報保護について考えていきます。				
予習	事前に示したキーワードについて調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する			約2時間
6. 社会福祉調査のデザイン①				
社会福祉の理論と社会福祉調査の方向性と妥当性について説明します。				
予習	事前に示したキーワードについて調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する			約2時間
7. 社会福祉調査のデザイン②				
調査テーマと目的の設定方法, 調査計画書の作成方法について説明します。				
予習	事前に示したキーワードについて調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する			約2時間
8. 量的調査の方法①				
量的調査の意義と目的について考えていきます。				
予習	事前に示したキーワードについて調べる			約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する			約2時間

○授業計画		科 目 名	社会福祉調査法（Social Work Research）	授業コード	E043801
		担当教員	大谷 明弘、河村 裕次		
学修内容					
9. 量的調査の方法②					
量的調査における質問紙の作成方法とその留意点について考えていきます。					
予習	事前に示したキーワードについて調べる				約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する				約2時間
10. 量的調査の方法③					
量的調査における質問紙の配布と回収方法について考えていきます。					
予習	事前に示したキーワードについて調べる				約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する				約2時間
11. 量的調査の方法④					
量的調査における集計と分析について説明します。					
予習	事前に示したキーワードについて調べる				約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する				約2時間
12. 質的調査の方法①					
質的調査の意義と目的について説明します。					
予習	事前に示したキーワードについて調べる				約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する				約2時間
13. 質的調査の方法②					
質的調査における観察法・面接法について説明します。					
予習	事前に示したキーワードについて調べる				約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する				約2時間
14. 質的調査の方法③					
質的調査における記録の方法と分析方法について考えていきます。					
予習	事前に示したキーワードについて調べる				約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する				約2時間
15. ソーシャルワークにおける評価					
ソーシャルワークにおける評価の意義、評価対象、評価方法について考えていきます。					
予習	事前に示したキーワードについて調べる				約2時間
復習	講義内容を踏まえ、確認テストを受験する				約2時間
16. 試験					
期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。					
予習	これまでの配布資料、板書等を整理するとともに、講義内容について振り返る				約2時間
復習					